

2021年10月4日 (月) から10日 (日) オンライン上映

2021年10月9日 (土) 10日 (日) リアル会場上映

LA会場: マリリンモンロー・シアター Marilyn Monroe Theatre

7936 Santa Monica Blvd West Hollywood CA 90046

LA日本映画祭 (JFFLA) は、日本映画を通じて日本の文化や若い才能を紹介し、さらに国際的な文化交流を深めるために始まりました。昨年はオンラインのみとなり、今年で16回目になる映画祭ですが、多くの日系コミュニティ協力を受けまして、劇場とオンラインでのハイブリットの上映を行うことになりました。上映する作品は、どれも現代的な日本文化と伝統的な日本の心を映し出した興味作品群となっています。公募作品では日米だけでなくカナダやドイツからの作品もあり、さまざまな視点からJAPANを感じることができます。また日本の歴史を扱う映画や、上質のドキュメンタリーも上映します。長編および短編の約30本の話作、最新作、環境を考える作品、心温まる招待作品を、オンライン及びLAの会場で公開します。

<注目の上映予定作品>



- ・ Nankurunaisa ~Let it be~
「なんくるないさあ」～生きてるかぎり死なないさあ～

沖縄の喜劇の女王・仲田幸子さんが、亡くなってしまった！というなんともショッキングな設定の物語は、なんと【幸子の恋物語】へと昇華していく。幸子さんを筆頭とした沖縄芝居の実力者たちが豪華競演。沖縄芝居の底力にひれ伏したくなる、爆笑芝居合戦は貴重です。

*映画「なんくるないさ」主演の仲田まさえさん（仲田幸子さんの孫）が訪米します。会場ではQ&A及び歌の披露を予定しています。



・ Love and the Grand Tug-of-war 大綱引の恋

鹿児島県の川内大綱引は、慶長年間に始まり400年以上の歴史があります。また綱引そのものは隣国韓国にそのルーツがあるとされ、日韓の交流も行われています。この日本と韓国の文化を舞台にして、日本と韓国の代表的な俳優が共演しました。昨年急逝した佐々部清監督の最期の作品、渾身のラブストーリー。



・ Peaceful Death 痛くない死に方

「病院」か「在宅」か。この映画は在宅医と患者と家族の物語である。命あるものには必ず死が訪れる。それを誰も止めることは出来ない。在宅医療のスペシャリストであり実際に尼崎市で在宅医として活躍をされている長尾和宏著のベストセラー「痛くない死に方」「痛い在宅医」をモチーフに高橋伴明監督が完全映画化。いつかは自分の親や自分自身に訪れる終期について考えさせられる、必見の一作。



・ Microplastic Madness

マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る2050年～

ニューヨーク、ブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題を学び、彼らの視点でこの問題の根幹が何かを問いただし、解決に向かって自分たちのコミュニティからアクションを広げて行くまでの2年間に追った長編ドキュメンタリー。



・ A Down Town Doctor けったいな町医者

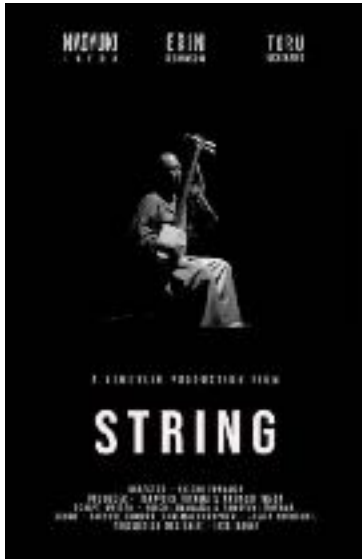
家が病室で、町が病棟や——尼崎の町医者の日常を記録したドキュメンタリー映画。好きな物を食べたい。最期まで自宅で過ごしたい。痛くない死に方がしたい。そんな患者さんと、家族の想いを守るために町医者は今日も全力で走る。怒る。泣く。歌う。看取る。下町を舞台に、生と死を見つめる問題作。



・ Lamafa くじらびと

自然とともに生き、命に感謝し、祈りを捧げる——インドネシア・ラマレラ村。ガスも水道もない素朴な村に1500人が暮らす。手造りの舟と鋳(もり)1本でマッコウクジラに挑むラマファ(鋳(もり)打ち)。伝統捕鯨の歴史は400年に及び、“くじらびと”たちは互いの和を最も大切なものとして支え合って暮らしている。SDG'sの観点からも大画面スクリーンで見るとお勧めのドキュメンタリー作品

*LA会場での上映のみ。オンラインでの上映はありません。



・ String 弦

実話を基にした、ロサンゼルスでホームレス生活を送る三味線の元達人の物語。ボランティアのバスに助けを借りながら人生の再起を図ろうとするが、過去のトラウマが彼を襲う。短編ドラマ。

* LA会場に主演のNaoyuki Ikedaさんや映画関係者達が登壇。



・ Hank and Jolene

日系人農家の夫婦と、孤独なアメリカ人アルバイトの交流を描くドラマ。LAで撮影された日系アメリカ人の物語。

* LA会場には主演の、Edward Buchananさん、Saki Miataさん、そして Shinichiro Okanoさん等が登壇予定。



・ Prayer: Figments of Nagasaki

祈り一幻に長崎を想う刻（とき）—

2021年現在、最後の原爆投下地となった長崎で、復興期を生き抜いた人々と被爆 MARIA 像の数奇な運命をめぐる知られざる戦後の物語。主題歌は、さだまさしの「祈り」。

- =====
- ・ JFFLAでは会場に参加するボランティアとゲストの安全を考えまして、会場に携わる全てのボランティア、入場者、ゲスト、メディアには、Covid-19のワクチン接種証明書もしくは、72時間以内の陰性証明書の提示を求めますことをご了解ください。会場内の入れ替えの際には消毒をし、マスクを配布します。またLA会場内では、マスク着用を義務とさせていただきます。
 - ・ 10日の18時30分からはレッドカーペットと、アワード授賞式がLA会場で行われる予定です。

前売りチケット\$10（10月3日まで） / 10月4日-10日は当日チケット \$12

オンライン上映チケットは、一度購入いただきましたら、映画祭の期間内であれば何度でも視聴可能です。途中で止めることも可能です。ただし、視聴できるのは10月4日から10日の午後11時59分まで。ご購入後に他の方へのチケットやログインパスの譲渡や返金はできませんので、ご注意ください。

詳しくはWeb サイトをご覧ください。 www.jffla.org